

事業名	常時啓発事業費	財務コード (事業)	115603
-----	---------	---------------	--------

細事業名	明るい選挙推進啓発事業費
------	--------------

担当部課室	総務 部 市町村 課 行政選挙 担当 (内線)	2470
-------	-------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 S36 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に 県民(小・中学生、高校生含む)	その対象をどのような状態にして 選挙制度の正しい理解と政治や選挙 に対する関心の向上が図られている	結果、何に結びつけるのか 選挙違反のないきれいな選挙と有権 者の投票総参加の実現
	事業の内容 ※主に 23年度 ○事業概要 (1)将来の有権者たる児童・生徒に対する啓発 ①明るい選挙啓発ポスターコンクールの開催 ②選挙啓発キャッチフレーズの募集 ③中学生用副読本の作成 (2)県民、政治団体に対する啓発 ①明るい選挙推進運動の功労者の表彰 (3)常時啓発事業の企画立案の委託 委託先:山梨県明るい選挙推進協議会 対象:小・中学生、高校生 対象:小・中学生、高校生等 対象:中学校3年生		
根拠法令等	公職選挙法第6条		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標	ポスター応募数	3,819作品	3,797作品	3,144作品	3,415作品	活動指標 目標設定の考え方 過去の実績(3年平均)を上回ること データの出典等
	キャッチフレーズ応募数	4,023作品	4,149作品	4,683作品	5,463作品	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		%			明るい選挙啓発ポスターコンクール応募数 明るい選挙啓発キャッチフレーズ審査応募数
成果指標						成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		%			
決算額、予算額	2,758	2,322		2,662	2,518	成果指標によらない成果
(千円) うち一財額	2,758	2,322		2,662	2,518	明るい選挙啓発ポスター、キャッチフレーズの 募集や表彰は、将来の有権者となる小・ 中学生、高校生のみならず、作品や授 業が広く報道されることにより、広く県民 にきれいな選挙をよびかける効果があ る。中学生用の副読本も社会(公民)の 授業に活用され、山梨県の具体的な投 票率や選挙区などの理解のために役立 てられている。
所要時間(直接分)	220 時間	220 時間		250 時間	250 時間	
所要時間(間接分)	0 時間	0 時間		0 時間	0 時間	
所要時間計	220 時間	220 時間		250 時間	250 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	445	445		505	505	

III これまでの事業の見直し・改善状況

平成14年度から、ポスター、キャッチフレーズの優秀作品を選挙時の懸垂幕やのぼり旗などの啓発物資に活用している。  
平成23年度から政治家等の寄附禁止の新聞広告を廃止した。

#### IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H23年度 活動指標 達成率	一次評価	ポスター応募者数 3,144 (83%) キャッチフレーズ応募者数 4,683 (113%) これらの単純平均値は98%であり、少子化で児童、生徒数が減少するなか、ポスター応募数が減少しているが、キャッチフレーズの応募数は増えており、ほぼ意図した成果をあげている。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
H23年度 成果指標 達成率	一次評価	明るい選挙啓発ポスター、キャッチフレーズの募集や表彰は、将来の有権者となる小・中学生、高校生のみならず、作品や授業が広く報道されることにより、広く県民にきれいな選挙をよびかける効果がある。中学生用の副読本も社会(公民)の授業に活用され、山梨県の具体的な投票率や選挙区などの理解のために役立てられており、意図した成果を上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

#### V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目
有	平成24年1月に公表された「常時啓発事業のあり方等研究会」の最終報告書を受け、学校教育と連携した参加・体験型の学習を充実させるとともに、中学3年生用に配付している既存の副読本がより有効に活用されることを目的に、新たに県内の小・中学校を対象に「明るい選挙出前授業」(選挙啓発クイズや模擬投票など)を行うこととする。	b

・「IV以外の判断項目」の欄  
 必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正)  官or民(f.民間等実施)  官の役割分担(g.市町村等へ移管)  効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー一会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

#### VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
改善済み	平成24年度(10月)から新たに、県内の希望のあった小中学校を対象に、社会、公民の授業の時間を使った「明るい選挙出前授業」を実施しており、(小学校3校、中学校1校で実施)、平成25年度以降も継続して実施していくこととする(新たな予算措置は不要)。 [出前授業の内容] ・選挙制度についての講義 ・投開票事務の説明(市町村選挙管理委員会) ・模擬選挙(候補者の演説と模擬投票、開票)

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。